

令和8年3月2日

令和8年第1回神奈川県議会定例会

環境農政常任委員会報告資料

環 境 農 政 局

## 目 次

I	本庁機関の再編について……………	1
II	「神奈川県条例の見直しに関する要綱」に基づく環境農政局所管条例の見直し結果について……………	3
III	神奈川県食品ロス削減推進計画の改定案について……………	5
IV	第51回全国育樹祭基本方針の策定について……………	9
V	「GREEN×EXPO 2027」に向けた取組について……………	13

# I 本庁機関の再編について

令和8年度に向け、次のとおり組織再編を実施する。

## 1 再編の内容

### 【本庁機関】

#### ○ GREEN×EXPO 推進本部室の設置

- GREEN×EXPO 2027 開催に向けて準備体制を強化するため、農業振興課内に設置している国際園芸博覧会推進室を廃止し、GREEN×EXPO 推進本部室を設置する。

現 行	再編後
<p><b>【環境農政局】</b></p> <pre> graph TD     A["【環境農政局】"] --- B["脱炭素戦略本部室"]     A --- C["環境部"]     A --- D["農水産部"]     D --- E["農業振興課"]     E --- F["国際園芸博覧会 推進室"]                     </pre>	<p><b>【環境農政局】</b></p> <pre> graph TD     A["【環境農政局】"] --- B["脱炭素戦略本部室"]     A --- C["GREEN×EXPO 推進本部室"]     A --- D["環境部"]     A --- E["農水産部"]     E --- F["農業振興課"]     F --- G["〔廃止〕"]                     </pre>

#### ○ 全国育樹祭推進室の設置

- 令和10年度に全国育樹祭を開催するための準備体制を強化するため、森林再生課内に全国育樹祭推進室を設置する。

現 行	再編後
<p><b>【環境農政局】</b></p> <pre> graph TD     A["【環境農政局】"] --- B["緑政部"]     B --- C["森林再生課"]                     </pre>	<p><b>【環境農政局】</b></p> <pre> graph TD     A["【環境農政局】"] --- B["緑政部"]     B --- C["森林再生課"]     C --- D["全国育樹祭推進室"]                     </pre>

## 2 再編の時期

令和8年4月1日

## Ⅱ 「神奈川県条例の見直しに関する要綱」に基づく環境農政局所管条例の見直し結果について

県では、「神奈川県条例の見直しに関する要綱」（以下「要綱」という。）に基づき、一定期間ごとに条例の見直しを行っている。

条例の見直しの周期は、施行の日から5年を経過するごととしており、必要性、有効性、効率性、基本方針適合性、適法性の5つの視点から見直すこととしている。

このたび、環境農政局において所管する次の条例について、要綱に基づく見直し作業を行ったことから、その結果を報告する。

### 条例の見直しの結果

改正・廃止及び運用の改善等の必要はない。

条例名	見直し結果
神奈川県地球温暖化対策推進条例	現行条例の運用上の課題は見受けられず、現時点では改正・廃止及び運用の改善等の必要はない。

(参考) 条例の見直し結果概要

条 例 名	神奈川県地球温暖化対策推進条例		
条 例 番 号	平成 21 年神奈川県条例第 57 号	法 規 集	第 5 編 第 1 章
所 管 室 課	環境農政局脱炭素戦略本部室		
条 例 の 概 要	2050年までの脱炭素社会の実現に向け、事業者及び県民の自主的な取組を促進し地球温暖化対策の推進を図り、もって良好な環境を将来の世代に引き継いでいくため、県、事業者、県民、建築主等の責務を明らかにするとともに、地球温暖化対策に関する施策の実施について必要な事項を定めている。		
検 討	視 点	検 討 内 容	備 考
	必要性 （ 現在でも 必要な条 例か。 ）	地球温暖化は喫緊の課題であり、県、事業者、県民、建築主等の各主体が地球温暖化対策に取り組むべき必要性は、より高まっている。本条例は、地球温暖化対策に関する施策について必要な事項を定めており、引き続き必要な条例である。	
	有効性 （ 現行の内 容で課題 が解決で きるか。 ）	本条例に基づき定める地球温暖化対策計画では、県内における温室効果ガスの排出量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量の削減等を行うための施策に関する事項を定めており、地球温暖化に関する施策の総合的かつ計画的な推進が図られている。 また、本条例に基づく温暖化対策計画書制度により、温室効果ガス排出量の多い一定規模以上の事業者、建築主、開発事業者の自主的な地球温暖化対策が促進されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業活動温暖化対策計画書等の届出事業者数（令和 6 年度）579件（うち中小規模事業者数48件）</li> <li>建築物温暖化対策計画書の届出数（令和 2～6 年度）588件</li> <li>特定開発事業温暖化対策計画書の届出数（令和 2～6 年度）62件</li> </ul>
	効率性 （ 現行の内 容で効率 的といえ るか。 ）	本条例で各主体の責務を明記するとともに、自主的な取組を促進することを定め、各主体の役割分担による効率的な目的の達成を図っている。 特に、事業活動温暖化対策計画書制度については、事業者による脱炭素化の取組を県が評価する仕組みを導入することで、事業者の意欲を向上させ、自主的な取組の後押しを図り、条例改正（令和 6 年10月22日公布、令和 7 年 4 月 1 日施行）を行ったところである。	
	基本方針適合 性 （ 県政の基 本的な方 針に適合 している か。 ）	「新かながわグランドデザイン」において、本条例に基づき定める地球温暖化対策計画は、総合計画における政策分野「環境・エネルギー」の軸となる個別計画に位置づけられ、地球温暖化対策計画に基づき県が取り組む施策の基本方向も総合計画と整合が図られていることから、県政の基本方針に沿ったものとなっている。	
	適法性 （ 憲法、法 令に抵触 しない ）	本条例は、事業者及び県民の自主的な地球温暖化対策の促進を図るためのものであり、憲法、法令に抵触しない。	
	その他		
見 直 し 結 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>改正・廃止及び運用の改善等の必要はない。</li> <li>改正・廃止の必要はない。運用の改善等を検討する。</li> <li>改正を検討する。運用の改善等の必要はない。</li> <li>改正及び運用の改善等を検討する。</li> <li>廃止を検討する。</li> </ol>		理 由 等
			現行条例の運用上の課題は見受けられず、現時点では改正・廃止及び運用の改善等の必要はない。

### Ⅲ 神奈川県食品ロス削減推進計画の改定案について

県内の食品ロスの削減の推進に関する計画である「神奈川県食品ロス削減推進計画（以下「計画」という。）」について、国による削減目標の見直しや県内での取組状況を踏まえ、現在、改定作業を進めている。

令和7年第3回定例会（9月）の当常任委員会において、計画の改定素案を報告したところ、改定素案で示した事業系食品ロスの削減目標について、「本県は『いのち輝く神奈川』の実現に向け、SDGsの推進に取り組んでいるので、国の示す削減目標を上回る目標設定を検討すべき」との意見発表があった。

そこで、削減目標の修正を検討するとともに、改定素案に対する県民意見募集等を行い、計画の改定案を作成したので、報告する。

#### 1 削減目標の修正

- 新型コロナウイルス感染症禍においては、テレワーク等で在宅機会・時間が増加したことにより外食から内食への移行が生じ、外食における食べ残し（食品ロス）が減少した。
- 国は、事業系食品ロスの削減目標の見直しに当たり、こうした行動変容を最大限取り込んだ場合には2030年度までに62%の削減を見込むことができるとし、一方、行動変容を考慮しない場合には56%の削減にとどまると推計した上で、当初目標の「半減」を「60%削減」に見直した。
- 本県では、国の目標見直し等を踏まえ、改定素案において事業系食品ロスの削減目標を「60%削減」としたところであるが、食べ残しの持ち帰りの促進やデジタル技術を活用した食品寄附活動の推進など、今回の計画改定に伴い充実・強化する施策の積極的な展開による一層の削減を見込み、削減目標を「65%削減」に上方修正することとする。

#### 2 県民意見募集及び市町村意見照会結果

##### (1) 県民意見募集（パブリックコメント）

###### ア 募集期間

令和7年10月8日～11月10日

###### イ 周知方法

県ホームページ、印刷物による縦覧（県政情報センター、各地域県政情報コーナー、資源循環推進課等）

(2) 市町村意見照会

ア 照会期間

令和7年10月8日～10月31日

イ 照会方法

文書による照会

(3) 実施結果

ア 意見の件数

県民意見募集 10件（意見提出者数 2者）

市町村意見照会 0件（意見提出者数 0者）

イ 意見の内訳

区 分	件数
計画全般について	0件
計画の趣旨、現状・課題について	1件
計画の目指す姿と施策の方向性、削減目標について	0件
推進施策について	7件
各主体の役割、計画の推進について	1件
その他	1件
計	10件

ウ 意見の反映状況

(ア) 計画案に反映したもの 2件

- ・ 環境省のホームページを見たら、2023年度の食品ロス量が発表されていた。神奈川県計画でも2023年度のデータに更新できないのか。
- ・ 先日県が発表していたロスZEROかながわ大作戦は、すごくいい取組。多くの人に使ってもらうためにも計画に記載した方がいい。

(イ) 計画（改定素案）に既に盛り込まれているもの 7件

- ・ 外食の際、つい注文し過ぎてしまうことがある。持ち帰ろうとしても、持ち帰りに対応してくれるお店がまだまだ少ない。持ち帰りに対応してくれるお店が増えるようにしてほしい。
- ・ これからの人口減少、担い手不足の状況でも食品ロス対策を進めるため、デジタル技術を積極的に導入した方がいいと思う。
- ・ 賞味期限と消費期限の違いについて、消費者が正しく理解できるよう、啓発に力を入れてほしい。

- ・ 最近の物価高で、食支援が必要な方が増えていると思う。そういった方々を支えるため、フードドライブの取組がもっと広がってほしい。
  - ・ 食品ロスにならないように、必要以上に食材を購入しないこと。その日に必要な分だけ作り、過剰に作りすぎないようにすべき。そうすれば、食品ロスはなくなる。
  - ・ 普段の買い物をしているときに、棚の奥の方から商品を手になっている人がまだまだいる。「てまえどり」の重要性について、もっと周知した方がいい。
  - ・ 食品ロス削減のためには、県民や事業者の協力が不可欠である。様々な媒体を用いて周知してほしい。
- (ウ) その他 1件
- ・ 県の課題として家庭系では食べ残し、事業系では飲食店における取組が重要ということがわかった。県の課題を踏まえてこれからも取組を進めてほしい。

### 3 改定素案からの主な変更箇所

#### (1) 表紙

表紙右上において、SDGsアイコン「14」及び「15」を追加した。

#### (2) 第2章 食品ロスの現状と課題

第1節「全国の食品ロスの状況」など計画全般にわたって、国及び本県の「2022年度のデータ」を「2023年度のデータ」に修正した。

#### (3) 第4章 食品ロスの削減目標

第2節において、事業系食品ロス量の削減目標を2030年度までに2000年度比60%削減から65%削減に引き上げた。

#### (4) 第5章 推進施策

第5節「未利用食品を提供するための活動の支援等」において、「ロスZEROかながわ大作戦！」の取組を追加した。

### 4 今後のスケジュール（予定）

令和8年2月 県議会へ計画改定案を報告  
3月 計画改定

《参考資料 1》

神奈川県食品ロス削減推進計画改定案（概要）

《参考資料 2》

神奈川県食品ロス削減推進計画改定案

## IV 第51回全国育樹祭基本方針の策定について

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、国土緑化推進機構と都道府県の共催により行う国民的な緑の祭典で、令和10年秋に「第51回全国育樹祭」が本県で開催されることが決定した。

このたび、開催に向けた基本方針案を取りまとめたので報告する。

### 1 開催方針

#### (1) 全国育樹祭の目的

継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、国民の森林に対する愛情を培うことを目的とする。

#### (2) 本県の開催状況

平成22年に「第61回全国植樹祭」が開催されており、全国育樹祭は初めての開催となる。

#### (3) 開催理念

本県では、特に、森林の持つ水のかん養機能に着目し、個人県民税の超過課税を活用して、水源環境保全・再生施策に取り組んでいる。

荒廃が進んでいた私有林で重点的に整備を行うとともに、丹沢大山やその周辺地域でシカ管理等に取り組んだ結果、多くの事業箇所では土壌保全機能が向上し、森林の荒廃に歯止めをかけることができた。

こうした背景のもと、本県で全国育樹祭を開催することは、都市部も含めた県民全体で森林を守り育てることや、森林が持つ豊かで多面的な機能の重要性について、県民の皆様の関心と理解を深め、かながわの森林の恵みを次世代に引き継いでいくうえで、大変大きな意義がある。

そこで、次の3つを柱に第51回全国育樹祭を開催する。

#### ア みんなで守りみんなで育てる

水源かん養や土砂災害防止、木材等生産に加え、生物多様性の保全やグリーンカーボン、癒し効果など、様々な機能を持つ森林を、県民共有の大切な財産として、都市部も含めた県民全体で守り育てていく。

#### イ 多面的機能をしっかり活かす

森林の適切な管理や県産木材の利用促進に加え、J-クレジットの創出による新たな価値の創造など、様々な取組を行い、かながわの森林が持つ多面的機能を十分発揮できるよう、利活用を図っていく。

ウ 森の恵みを未来につなげる

森林を守り育てることの大切さや、かながわの森林づくりの取組を広く発信していくことで、森林の多面的機能からもたらされる豊かな恵みを次世代に継承していく。

(4) 大会テーマ

全国育樹祭の目的にふさわしい「大会テーマ」を公募し、令和8年度中に選定する。

(5) シンボルマーク

第61回全国植樹祭のシンボルマーク「かなりんちゃん」を継続使用する。



(6) ポスター原画

県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等から「ポスター原画」を募り、令和8年度中に選定する。

## 2 全国育樹祭行事

(1) お手入れ行事

「第61回全国植樹祭」で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れ（枝打ち・施肥）する行事を行う。

ア 開催日 式典行事の前日

イ 会場 広町県有林（南足柄市 全国植樹祭お手植え会場）

ウ 参加人数 約300人

(2) 式典行事

県内外から多くの参加者を招待する全国育樹祭の中心的行事として、皇族殿下のおことばをはじめ、緑化功労者の表彰や緑の少年団の活動発表、大会宣言等を行う。

ア 開催日 令和10年秋季

イ 会場 小田原市総合文化体育館・小田原アリーナ（小田原市）

ウ 参加人数 約4,000人

エ 式典演出 大会テーマ（令和8年度決定）を象徴的に表現し、かつ、神奈川県の特徴を生かした式典とする。基本構成は、プロローグ、式典、エピローグの3部構成とする。

(3) 懇談会

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して懇談会を開催する。

ア 開催日 式典行事の前日

イ 会場 未定

ウ 参加人数 約300人

### 3 併催行事

#### (1) 育林交流集会

森林・林業が直面する課題等をテーマに基調講演やパネルディスカッションなどを行う。

ア 開催日 式典行事の前日

イ 会場 未定

ウ 参加人数 約 300 人

#### (2) 全国緑の少年団活動発表大会

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、県内及び全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、日頃の活動について発表を行う。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行う。

ア 開催日 式典行事の前日

イ 会場 秦野市文化会館（秦野市）

ウ 参加人数 約 300 人

### 4 記念行事

#### (1) 森林・林業・環境機械展示実演会

林業関係者はもとより、将来の森林づくりの担い手である高校生等や一般参加者を対象として、全国の林業機械や環境機械メーカー等による最新機械の展示実演などを行う。

ア 開催日 式典行事の当日および翌日

イ 会場 未定

ウ 参加人数 約 10,000 人

#### (2) 国民参加の森林づくりシンポジウム

第51回全国育樹祭の1年前記念行事として、森林づくりへの参加の動機付けとなる基調講演やパネルディスカッションなどを行う。

ア 開催日 令和9年秋季

イ 会場 未定

ウ 参加人数 約 300 人

#### (3) その他の記念行事

県が実施するイベントのほか、市町村や関係団体が実施する関連行事を第51回全国育樹祭の記念行事と位置付け、全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや県産木材の利用促進のための取組を進める。

## 5 今後のスケジュール（予定）

- 令和8年春季 国土緑化推進機構との会場決定協議
- 6月 基本方針策定
- 令和9年2月 環境農政常任委員会へ基本計画案を報告
- 3月 基本計画策定
- 秋季 開催日決定
- 令和10年2月 環境農政常任委員会へ実施計画案を報告
- 3月 実施計画策定
- 秋季 第51回全国育樹祭開催

### 《参考資料3》

第51回全国育樹祭基本方針（案）

## V 「GREEN×EXPO 2027」に向けた取組について

令和9年に本県で開催される2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」について、県は、開催地の自治体として出展を行うこととし、令和6年10月にとりまとめた「神奈川県出展基本構想」に基づき、準備を進めている。

そこで、「GREEN×EXPO 2027」に向けた県出展の準備状況及び県内における機運醸成の取組状況等について報告する。

### 1 「GREEN×EXPO 2027」の概要

#### (1) 開催期間

令和9年3月19日から令和9年9月26日まで（192日間）

#### (2) 開催場所

旧上瀬谷通信施設（横浜市瀬谷区・旭区）

#### (3) 博覧会区域の面積

約100ha（うち会場区域 約80ha）

#### (4) 有料来場者数

1,000万人以上（想定）

#### (5) 開催主体

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

### 2 「神奈川県出展基本構想」の概要

#### (1) 出展のテーマ

##### ア メインテーマ

“Vibrant INOCHI” 一人ひとりの“いのちが輝く”

##### イ サブテーマ

(ア) 共生社会の実現

(イ) 持続可能な社会づくり

(ウ) 未病（ME-BYO）の改善

#### (2) 県出展の構成

##### ア 屋外展示

庭園を中心にテーマを分かりやすくイメージさせる、印象的なシンボル展示を行う。

##### イ 屋内展示

屋外展示と連動しながら、県が推進する施策をより深く理解してもらえるよう、展示内容や手法を検討する。

## ウ 催事

“Vibrant INOCHI” パフォーマンスを制作・上演するほか、県による主催催事、県内市町村やその他主体による催事を企画・実施する。

### 3 県出展の準備状況（環境農政局）

#### (1) 「GREEN×EXPO 2027推進本部」の開催

庁内関係機関相互の緊密な連携を図り、総合的かつ効果的に推進するため、知事を本部長とし、各局長等を構成員とする「GREEN×EXPO 2027推進本部」を開催し、各局の取組状況や県出展、機運醸成の今後の進め方等について共有した。

#### 【開催状況】

	開催日	内容
第1回推進本部	令和7年6月9日	各局の取組状況等
第2回推進本部	令和7年9月3日	各局の取組状況等
第3回推進本部	令和7年12月22日	各局の取組状況等
第4回推進本部	令和8年2月4日	県出展エリアにおける屋外庭園及び屋内展示について

#### (2) イメージパース

県出展エリアの全体像を分かりやすくお知らせするため、イメージパースを作成し、令和8年1月28日に公表した。



### (3) 屋外庭園

#### ア 考え方

県内各地域の特色ある花や緑を植栽し、自然環境を再現することで、豊かで美しい神奈川県土を屋外庭園に落とし込む。

#### イ 植栽の規模

植物の使用数量（予定）

	分類	品目	本数	備考
樹木	高木	36	約 400	
	低木	27	約 1,200	
苗木	花苗	88	約 71,200	5～9回植替え
	カラーリーフ類	51	約 11,300	

#### ウ スポット展示

県内2自治体が出展予定

### (4) 屋内展示

#### ア 常設展示

県出展のサブテーマである「共生社会の実現」「持続可能な社会づくり」「未病の改善」を分かりやすく伝える常設展示を設置する。

サブテーマ	コンテンツ
共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「ともに生きる社会かながわ憲章」</li><li>・ ともいきアート 等</li></ul>
持続可能な社会づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 脱炭素社会に向けた取組</li><li>・ プラごみゼロに向けた取組 等</li></ul>
未病の改善	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 未病状態の見える化に関連する商品の紹介</li><li>・ 未病改善レシピ 等</li></ul>

#### イ シアター

建物中央部に客席数約60席のシアターを設置し、出展テーマを体感できる映像コンテンツを提供する。

#### ウ スポット展示

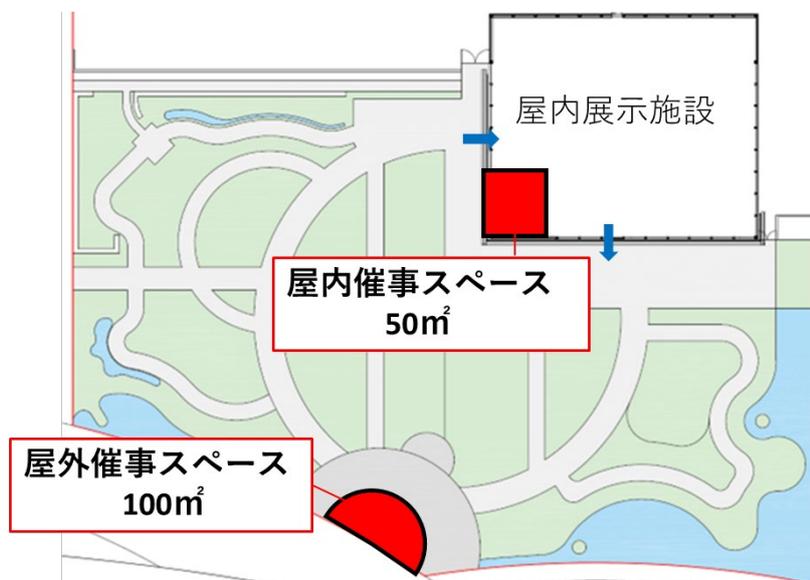
屋内展示施設内に約25m<sup>2</sup>の展示スペースを2区画用意し、県や市町村がそれぞれの取組や魅力を発信するためのスポット展示を実施する。

県内30自治体が出展予定

## (5) 催事

出展テーマを分かりやすく発信し、また、神奈川県魅力をPRするため、県出展エリアに催事スペースを設け、郷土芸能やワークショップ、ダンス等の活動発表など、毎日、様々な催事を実施する。

### ア 催事実施場所



### イ 一般参加催事の募集

- (ア) 募集期間 令和7年12月1日から令和8年1月30日まで
- (イ) 応募件数 200件
- (ウ) 審査 有識者で構成する審査会にて、評価基準に基づき提出書類を審査し選考を行う。(令和8年3月)

## (6) ボランティアの募集

### ア ボランティアの種類

- (ア) 花・緑ガイドボランティア
  - (活動内容) 来場者に向けて、会場内の花壇等の見どころを紹介
  - (募集期間) 令和7年11月17日から令和8年1月9日まで
  - (応募人数) 3,493人
- (イ) 植物管理ボランティア
  - (活動内容) 会場内花壇等での花がら摘み・除草等サポート
  - (募集時期) 令和8年2月5日から令和8年4月30日まで
- (ウ) 運営ボランティア
  - (活動内容) 会場内外での来場者案内や運営サポート
  - (募集時期) 令和8年2月5日から令和8年4月30日まで

#### イ 応募要件

令和9年4月2日時点で満15歳以上の方（中学生を除く）  
8日以上活動していただける方

#### ウ 活動時間

1日当たり4時間程度を想定

#### (7) 今後のスケジュール（予定）

令和8年1月～3月 基本設計、基盤整備  
4月頃～ 屋外庭園の造園、屋内展示施設の建築工事  
令和9年1月頃～ 屋外庭園の植栽、屋内展示の設置・施工  
3月19日 開幕

### 4 機運醸成の主な取組（環境農政局）

#### (1) 「GREEN×EXPO 2027応援団」による機運醸成

本県にゆかりのある著名人や団体を中心に「GREEN×EXPO 2027応援団」を結成し、イベント等でPRを実施。（令和7年11月19日に追加メンバー5名を任命し、計29名、9団体）

氏名、団体名	実施日	イベント名等
結成時	令和6年9月制作	応援メッセージ動画
田崎 日加理	令和6年10月10日	パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会 神奈川県祝賀会
橋本 はづき	令和6年10月25日	全国高校生花いけバトル 神奈川大会 2024 練習会
金子 桃 ほか2名	令和6年12月15日	全国高校生花いけバトル 神奈川大会 2024
かながわ緑の大使	令和7年5月3日	県庁本庁舎一般公開
白井 貴子	令和7年5月4日	横浜フラワー&ガーデン フェスティバル2025
熊本 マリ	令和7年5月25日	かながわパフオマ開放区 ピアノコンサート
八田 幸子	令和7年6月21日	全国高校生花いけバトル 神奈川大会 2025 練習会
石塚 英彦	令和7年9月14日	全国高校生花いけバトル 神奈川大会 2025

小林 涼子	令和7年9月14日	ベトナムフェスタin神奈川2025
湘南ベルマーレ フットサルクラブ	令和7年10月26日	CAMPLUGGED Vol.8
ガールスカウト 神奈川県連盟	令和7年10月26日	CAMPLUGGED Vol.8

(2) 県主催（共催）イベント、県有施設等による機運醸成  
ア 県主催（共催）イベント等

イベント名等	実施日	内容
県庁本庁舎一般公開	令和6年5月3日	PRブース
	令和7年5月3日	スタンプラリー等
緑の祭典2024inさがみはら	令和6年5月26日	PRブース
ベトナムフェスタ in 神奈川 2024	令和6年9月7日 8日	PRブース
神奈川県花き展覧会	令和6年11月23日 24日	PRブース フォトスポット
	令和8年2月14日 15日	
東京2025デフリンピック1年前 イベントin かながわ	令和6年11月30日	PRブース
農業技術センター施設公開	令和7年4月19日	PRブース スタンプラリー等
関東甲信越1都9県議会議長会	令和7年8月26日	PRブース
第182回全国都道府県議会議長 会定例総会	令和7年10月30日	PRブース
かながわ農業アカデミー 秋のまつり	令和7年11月1日	PRブース
第3回かながわ木づかいフェア	令和7年11月15日 16日	PRブース

イ 県有施設を活用した機運醸成

施設名	内容
花菜ガーデン	フォトスポット設置
大船フラワーセンター	フォトスポット設置、花壇植付け
大磯城山公園	ざる菊展、スタンプラリー（R7）

おだわら諏訪の原公園	花壇植付け (R7)
恩賜箱根公園	初夏のバラ展 (R7)
観音崎公園	チューリップ植付け (R7)
境川遊水地公園	寄せ植え体験 (R7)
相模三川公園	寄せ植え体験 (R7)
相模原公園	寄せ植え体験 (R6、R7)
四季の森公園	壁面花壇花植え体験 (R6、R7)
茅ヶ崎里山公園	寄せ植えワークショップ (R6)、 園内花壇花植え・球根植付け (R7)
津久井湖城山公園	寄せ植え体験、 フォトスポットづくり (R7)
辻堂海浜公園	たねダンゴ植付け体験 (R7)
秦野戸川公園	チューリップ植付け (R6、R7)
保土ヶ谷公園	チューリップ植付け (R7)
三ツ池公園	花植え体験 (R7)
神奈川県民センター	カウントダウンボード設置
あーすぷらざほか35か所	GREEN×EXPO 2027のぼり旗設置

#### ウ 子どもを対象とした花育イベント

実施場所	実施日	内容
県庁(庁舎公開)	令和6年5月3日	フラワーアレンジメント
	令和7年5月3日	
茅ヶ崎里山公園	令和6年5月19日	たねダンゴ教室
生田緑地	令和6年12月14日	クリスマスリース作り
横浜南部市場	令和6年12月26日	洋花アレンジメント
大和市シリウス	令和7年3月23日	フラワーアレンジメント
ビオトピア (CAMPLUGGED Vol.8)	令和7年10月26日	植物クイズ、 花苗プレゼント
おだわら市民交流 センターUMECO	令和7年11月2日	季節の生け花体験
生田緑地	令和7年12月14日	クリスマスリース作り

(3) 市町村、団体等と連携した機運醸成

イベント名等	実施日	内容
開成町あじさいまつり	令和6年6月15日～16日	PRブース
	令和7年6月7日～8日	
小田原フラワーガーデン	年8回以上	モスボールづくり
	年2回以上	花壇植栽
ローズフェスタ2025（綾瀬市）	令和7年5月24日	PRブース
神奈川再発見！フェア	令和7年10月11日～13日	PRブース
第47回逗子市民まつり	令和7年10月12日	PRブース
CAMPLUGGED Vol.8	令和7年10月26日	PRブース スタンプラリー
カーニバル湘南 2025	令和7年11月1日～3日	PRブース
名水サミットinはだの	令和7年11月8日	PRブース
横浜 STEAM EXPO 2025	令和7年11月8日・9日	PRブース
Fリーグ（湘南ベルマーレ対 Y. S. C. C. 横浜）（小田原市）	令和7年12月6日	PRブース
大井町産業まつり	令和8年1月18日	PRブース
吾妻山菜の花ウォッチング （二宮町）	令和8年1月31日	PRブース
小田原梅まつり	令和8年2月21日	PRブース
湯河原梅林「梅の宴」	令和8年2月22日	PRブース
湘南花の展覧会（茅ヶ崎市）	令和8年2月28日	PRブース
三浦国際市民マラソン	令和8年3月1日	PRブース

(4) 多様な主体と連携した機運醸成

ア 全国都市緑化かわさきフェアにおける花壇、モニュメントの出展  
（国際園芸博覧会協会、横浜市との共同出展）

- ・ 秋開催（令和6年10月19日～11月17日：30日間）
- ・ 春開催（令和7年3月22日～4月13日：23日間）

イ 全国高校生花いけバトル神奈川大会2025～青春輝け！GREEN×EXPO  
2027への扉～の開催（令和7年9月14日）

ウ 「かながわの花展」（サテライト展示）における県内花き生産者団体  
によるPR（令和7年10月～令和8年1月、県内11市町村）

エ 花壇用応援看板等の配布

令和6年度：県内50団体（自治会等）に花壇用応援看板を配布

令和7年度：県内80団体（幼稚園、保育園、小中学校、市民団体等）に花苗、花壇用応援看板を配布

(5) メディアを活用した機運醸成

番組名等	放送（放映）日
LIGHT UP KANAGAWA（FMヨコハマ）	令和6年5月9日
	令和7年5月1日
	令和7年9月18日
KANAGAWA Muffin（FMヨコハマ）	令和7年9月6日
JUMP UP！かながわ（FMヨコハマ）	令和8年1月4日
カナフルTV（TVK）	令和6年11月3日
	令和7年12月28日
デジタルサイネージ等（ミナカ小田原ほか）におけるPR動画放映	令和6年6月～

(6) その他の機運醸成

ア 「第2回かながわともいきアート展」（令和7年11月1日～9日）において、「GREEN×EXPO 2027賞」を創設

イ 川崎競馬場において、「GREEN×EXPO 2027賞」として、協賛レースを実施（令和7年11月17日）

(7) 開催1年前に向けた集中的なPR

「GREEN×EXPO 2027」の認知度向上を図るため、令和7年度9月補正予算を活用し、開催1年前となる3月を中心に、県内全域で集中的な機運醸成の取組を実施する。

ア 開催1年前記念イベントの開催

「GREEN×EXPO 2027」を多くの県民に知っていただくため、3月に開催1年前記念イベントを開催する予定

(ア) 日時

令和8年3月7日（土）10時から16時まで

令和8年3月8日（日）10時から16時まで

(イ) 会場

ラゾーナ川崎プラザ ルーフア広場

(ウ) 概要

イベントステージ、ブースによるPR

(エ) ステージ出演予定者（「GREEN×EXPO 2027応援団」）

白井 貴子、川村 エミコ、田崎 日加理、MITSUMI

イ シティドレッシング

県内の主要駅等（11か所）において、集中的なシティドレッシングを実施する予定

実施場所	実施期間
J R川崎駅	令和8年2月9日～3月1日
京急川崎駅	令和8年3月2日～3月29日
J R橋本駅	令和8年3月2日～3月29日
京王橋本駅	令和8年3月2日～3月29日
京急久里浜駅	令和8年3月2日～3月22日
J R鎌倉駅	令和8年3月2日～3月29日
J R藤沢駅	令和8年3月2日～3月29日
藤沢シティスケープ	令和8年2月23日～3月8日
小田急本厚木駅	令和8年3月2日～3月29日
海老名市自由通路	令和8年3月1日～3月31日
小田急箱根湯本駅	令和8年3月1日～3月31日

ウ 県内各地でのイベント等へのブース出展（再掲）

イベント名等	実施日
小田原梅まつり	令和8年2月21日
湯河原梅林「梅の宴」	令和8年2月22日
湘南花の展覧会（茅ヶ崎市）	令和8年2月28日
三浦国際市民マラソン	令和8年3月1日

エ 県ホームページのリニューアル

県ホームページ内の「GREEN×EXPO 2027」に関するページをリニューアル公開（令和8年2月～）

オ 県庁舎へのPR物品設置

公式マスコットキャラクター「トウungkトウungk」のモニュメント、パネル、のぼり旗、カウントダウンボードを県庁舎に設置（令和8年1月～順次）